

令和7年度都立砂川高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	語彙を豊かにし、言語を使って表現する力を育てる	・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ・「話すこと」「書くこと」の言語活動を各単元で適切に設定する。	・一人一台端末の活用により、「話すこと」「書くこと」についての生徒間における即時共有を図り、協働的な学びを実現させる。
地理歴史 公民	課題を掴み、考察する力を育てる	・教材や課題のデジタル化を推進し、効率的な情報共有を図る。 ・授業内で問いや仮説を立てる活動を継続して行う。 ・必修科目・選択科目の授業では科目の特性に応じた振り返り活動を行う。 ・公民科ではニュース検定テキストを活用する。	・探究活動と関連して資料を活用する技能を伸長する。
数学	数学のよさを気づき、数学を活用しようとする態度を育てる	・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認する。 ・様々な活動が行えるよう基礎的な知識の定着を図る。	・一人一台端末の活用により、グラフ描画や確率統計のデータ作業等を実施する。
理科	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学に対する興味・関心を高める	・実験活動において、グループ内での話し合い・考察を増やし、双方向的な学習活動を実施する。	・一人一台端末の活用により、データ処理、実験結果の共有を効率化することで、相互の意見交換を活性化させる。
保健体育	生涯にわたって健康的に生活する力や態度を養う	・たくさんの種目を実践し、体力及び技術の向上を図る ・保健で学んだ知識を実際の生活に生かす実践力の育成	・「水泳」「持久走」「縄跳び」を体力強化種目として実施 ・ICT機器を活用し、自ら課題を見つけ、解決していく力を育成させる
英語	「話すこと」(やりとり)の指導の充実	・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認する。 ・学期に2回パフォーマンステストを実施 ・2年次生に向けてオンライン英会話を実施する。	・一人一台端末の活用により、「話すこと」「書くこと」についての生徒間における協働的な学びを実践する。
家庭	生活を主体的に営むための知識や技能を育む	・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認	・実習・実験を通じて実体験をし、科学的な視野をもつ。また生活の中の問題点をさがし、問題を解決する実践を一人一台端末の活用により行う。
情報	情報社会に主体的に参画する知識や技能を身に付ける	・民間補助教材を活用し、生徒が主体的に学べる環境を整える。 ・テストなどで理解度が低い内容に関しては、再度解き直す時間を設けるなど理解を最優先にする。	・専門科目の授業内容を充実させ、画像編集や動画編集、CGを使える環境を整える。 ・授業以外でもパソコン室を開放し、情報活用能力の育成を促す。